

きっかけは娘さんの「何かしたら？」

関口さんは工作機械の組み立てに関する仕事をしていたが、定年後に娘さんから勧められるまでボランティア活動には興味がありませんでした。定年退職してから4か月間、趣味もなく、自宅での過ごし方に悩んでいる姿を見て、娘さんが「おもちゃを修理するボランティア活動があるから行ってみたら」と教えてくれました。娘さんの一言がきっかけとなって、おもちゃ病院ピノキオへ見学に行った関口さんは、子どもたちのために熱心に活動する初代院長（代表）の姿に魅せられ、活動の面白さに気づき、いろいろな部品を集めておもちゃを修理するこのボランティアに参加する事に決めました。

それぞれの特技を活かす

メンバーはそれぞれに特技や技術を持った人が集まっており、お互いに知恵を出し合って一人ひとりのスキルを高めています。「電気に詳しい小木曾さんはいろいろな方法を試して、修理できないと絶対に言わない」と



娘さんには感謝していると話す関口さん

ろに頼りがいを感じますね。また、歯の欠けた歯車を接着剤で補強をしたり、足の折れた人形を直す技術を持つ池田さんのことも尊敬しています」と話します。メンバー同士で相談をしたり、修理記録を共有していくことで、一人ひとりのスキルは上がり、グループ内に知識や技術が積まれており、原因がわかればほとんどのおもちゃを直すことができるそうです。

関口さんは、作業だけでなく、メンバー同士の交流も大切にしています。専門性の高いメンバーが集まる中で、中学3年生の前川さんや2名のベトナム人が加入し、和気あいあいと冗談を言いながらコミュニケーションをとっています。

前川さんは小学校6年生の頃から加わり、メンバーの員として作業や受付を行っています。2名のベトナム人は仕事で培った電気や設計の技術を活かしています。また、上市町に住むメンバーも加わり、毎月第2土曜日には上市町でも開院することになりました。

ものを大切にする 思いやりを感じる現場

毎回、様々なおもちゃの修理依頼が来ており、どうやって直そうかとみんな考えて、新しいものにチャレンジできることがグループ全体のレベルアップとなっています。年間約130件の修理依頼を受けており、高齢者が思い出のおもちゃを持って来られることもありました。「思い出の詰まった人形をいつまでも大事にしたい」と願うご本人の思いに応えられるように頑張っ直しました。元通りに動く人形を見て喜んでくださった時はとても嬉しかったです」と話します。



どうやって直すかメンバー同士で相談します

特集

「大切に使う」を 育てるボランティア

黒部のおもちゃドクター

2010年10月、壊れたおもちゃを無料で修理する「黒部おもちゃ病院ピノキオ」が開院しました。現在、2代目院長の関口秀範さんに8年間の活動への思いについてお聞きしました。



また、クリスマスにももらったおもちゃがすぐ壊れてしまったお子さんから依頼を受けたこともありました。時間はかかりましたが、部品を取り換えて完ぺきに直し、依頼に来た時は悲しげな表情をしていたお子さんが明るくなり、「両親も安心したそうです。昨年の秋に魚津市で行われた環境フェスティバルでも、予想以上にたくさんの子連れから依頼があり大盛況でした。「一緒に遊ぶおもちゃは子どもたちにとって友達と同じような存在です。それを少し壊れたからと言って簡単に捨てることは、友達を捨てることと同じだと思えます。家族みんなで大切に使うという意識が広がってきているように感じて、活動を続けてきてよかったです」と話します。そして、子どもたちが「ありがとう」と言ってくれて嬉しく、物を大切にしている姿を見ることが次への励みにもなっています。

誰もが楽しめる 雰囲気づくり

「私たちの作業は、子どもたちが笑顔になるための活動だと理解してもらえたらいいですね。この間、小学生の女の子がメンバーの作業に興味深そうに見ていたので、ぬいぐるみの糸をほぐく作業を誘ってみました。最後まで上手にやり遂げてくれたことがありました。

そういうきっかけから興味を持ってくれる人たちが来てくれると、私たちは嬉しいですし、話し、誰でも気軽ににおもちゃ病院ピノキオに遊びに来てほしいと思っています。

今回の取材では、関口さんが初代院長の築き上げた活動の基盤や「子どもたちとふれあい、物を大切にすることを育てたい」という思いを引き継ぎ、世代や国籍を越えたメンバー全員が楽しく活動していることがわかりました。相手に奉仕をするイメージがあったこれまでのボランティア活動だけではなく、活動をしている自分たちも楽しいと感じることができ、お互いに感謝し合い、モチベーションを高めて次につなげられる活動がこれからのボランティアの理想的な姿であると思っています。



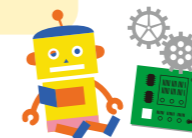
車のおもちゃを修理する前川さん(写真中央)

10月1日より
家で使わない
壊れたおもちゃを
回収します

おもちゃ自体が故障していても車輪を載せ替えたり、オルゴールの曲を入れ替えて修理したり、アイデア次第で使える部品があります。
※パソコン、DS、おもちゃの銃は不可

回収場所

黒部市福祉センターの
回収BOX



おもちゃ病院ピノキオ
開院日のお知らせ

上市町まちなか
交流プラザ「カミール」
(上市町西中町11)

毎月第2土曜日
13:30 ~ 16:00

黒部市立
東部児童センター
(黒部市三日市2581-1)

毎月第1・3土曜日
13:30 ~ 16:00

お問い合わせは ●黒部市立東部児童センター TEL.0765-52-4670
こちらまで ●おもちゃ病院ピノキオ 関口秀範 TEL.090-3763-4198



ふくしスマイル ワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

アイ福祉サポート株式会社
グループホーム しばんばの里
介護福祉士

世古 萌実さん(34歳)

好きな食べ物
アイスクリーム



利用者の皆さんと楽しく体操しています

印象に残っていることはありますか？
夏祭りにご家族を招待し、地域の方々へも声かけをさせていただきました。模擬店やゲームを考え、子どもから高齢者まで大勢の方が集まりとても喜んでいただけた時は達成感でいっぱいでした。

利用者の方やご家族と関わる時に心がけていることはありますか？

自分がされて嫌だなと感じることは相手にもやらないと決め、笑顔で利用者の皆さんと関わるように心がけています。ご家族の皆さんとは、何でも話していただけるように信頼関係を築き、1つでも多くのご希望を実現していきたいと思っています。

イベントPICK UP

黒部市社協杯チャリティーパークゴルフ大会

平成30年 10月24日(水)

- 場所** 黒部川リバーサイドパークゴルフ場
- 時間** 9:00~12:30(8:30集合)
- 対象者** 黒部市内に住む概ね60歳以上の方
- 定員** 100名(定員になり次第受付終了)
- 参加費** 700円(昼食なし)
※コース利用料金100円(ふれあい福祉券でも可)は各自負担となります。

- 申込締切** 10月12日(金)まで
- 申込方法** 申込書に必要事項記入の上、参加費と併わせて黒部市福祉センターまでお持ちください。(申込書は、福祉センター・各地区社会福祉協議会等にありませ)

表彰式は黒部市福祉センターで行います。総合の部、女子の部1・2・3位・飛び賞など数多くの賞品を用意しています。

一部は「赤い羽根共同募金」に寄付いたします。

民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
10月9日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
10月11日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/10月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
10月16日(火) 13:30~15:30
同じ相談内容の場合は、
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/10月1日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
10月15日(月) 10:00~11:30

10月

6日(土) 魚津カラオケ友好会 10:30~
13日(土) #なんでもや~楽団b 10:30~
14日(日) 日本海歌謡研究会 10:30~
16日(火) 歌謡サークル発表会 10:30~
20日(土) カラオケあえの風 10:30~
27日(土) 華の会歌謡ショー 10:30~

休館日 毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)

11月

3日(土) 日本海歌謡研究会 10:30~
10日(土) カラオケうた仲間 10:30~
15日(木) 元気カラオケクラブステージ発表 10:30~
16日(金) フラサークル イリマ 11:00~
17日(土) はまなすカラオケ&踊り 10:30~
18日(日) YKK社友会歌謡同好会 10:30~
23日(金) 歌謡パラダイス 10:30~
25日(日) 黒部民謡友の会 10:30~

休館日 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)

※4日(日)・24日(土)は翌祝日の為お休み

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30
[入浴時間] 10:00~16:00

今月の相談日

催し物と休館日のご案内

24時間テレビ41愛は地球を救う

募金活動へのご協力
ありがとうございました

合計 722,108円

| | |
|----------------------|----------|
| マックスバリュ 黒部カラーレ前店 | 114,254円 |
| 黒部ショッピングセンター メルシー | 94,327円 |
| 黒部市国際文化センター カラーレ | 511,852円 |
| 黒部市福祉センター | 1,675円 |

地域福祉
のために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました
ありがとうございました

- 米島 和子 様(石田)
- 沖村 廣子 様(下立)
- 黒部市芸術文化協会
芸術文化祭チャリティー 様
- JAくろべカトレアホールやすらぎ 様

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
金曜日(5日、12日、19日、26日)

元気カラオケクラブ
木曜日(11日、25日)

手芸部
木曜日(18日)

ポールウォーキング
金曜日(12日、26日)

誕生日のお祝いに
福祉センターの入浴券はいかがですか?

11枚綴り
3,000円

活動レポート1

「黒部のまちを良くするくみ」を学ぶ

7月30日(月)、赤い羽根の募金箱をつくろう教室を開催し、51名の小学生が参加しました。助成団体である黒部市児童クラブ指導者協議会が団体の活動紹介と日頃の感謝の気持ちを伝え、子どもたちは赤い羽根共同募金の仕組みを学びながら好きな飾りを使って様々な形の募金箱を作りました。
今年も10月1日から赤い羽根共同募金の期間が始まります。黒部市共同募金委員会では3月31日まで市内の公共施設や店舗などで募金箱を設置します。



pick up!
子どもたちが作った作品がこちら



活動レポート2

世代間交流会で夏の思い出

夏休みの3日間にわたり、たかせ小学校3・4・5年生が田家地区東布施地区のボランティアや更生保護女性会の皆さんと一緒に世代間交流会を行いました。3年生は将来の夢や目標を書いた短冊や七夕飾りと色とりどりの具材が入ったおにぎらずを作りました。4年生は20mの長のり巻き寿司を作り、みんなで協力し合うことの大切さを学びました。5年生は力強くこねたり優しく伸ばして楽しくそばを作りました。



pick up!
地区の方々に教わりながら作りました



「大切に使う」を育てる
ボランティア
黒部のおもちゃドクター



関口秀範さん



2018
10月 Vol.151

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成30年10月1日発行



この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

〔参加費〕150円(入館料のみ)



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

〔時間〕9:30~15:00 〔対象〕65歳以上の方

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|---------------|------------|-------------|------------|----|
| 30 | 1 レクリエーション | 2 レクリエーション | 3 | 4 スポレク | 5 自力整体 | 6 |
| 7 | 8 体育の日 | 9 健康体操C | 10 スポレク | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 健康体操A | 16 健康体操B | 17 | 18 健康講話 | 19 自力整体 | 20 |
| 21 | 22 健康講話 | 23 健康講話 | 24 | 25 健康体操B | 26 健康講話 | 27 |
| 28 | 29 バスドライブ | 30 バスドライブ | 31 | 11/1 | 2 | 3 |

時間/10:00~11:00 ※■は休館日
健康体操A 石田みどり先生 健康体操B 村田あゆみ先生
健康体操C 岡崎 明子先生 自力整体 稲田 清美先生
スポレク 健康増進課職員

健康講話…18日 救命講習/22日 転倒予防(薬のお話)/23・26日 介護保険

くろべ

〔参加費〕300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて

〔時間〕10:00~11:00 〔対象〕65歳以上の方

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|-------------|--------------|-------------|--------------|----|
| 30 | 1 | 2 アロマ・ヨガ | 3 | 4 アロマ・ヨガ | 5 健康体操C | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 音楽療法 | 11 音楽療法 | 12 音楽療法 | 13 |
| 14 | 15 | 16 音楽療法 | 17 アロマ・ヨガ | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 健康体操B | 24 健康体操A | 25 健康体操B | 26 アロマ・ヨガ | 27 |
| 28 | 29 | 30 健康体操C | 31 健康体操B | 11/1 | 2 | 3 |

時間/10:00~11:00 ※■は休館日
健康体操A 泉 一郎先生 健康体操B 炭田 亮子先生
健康体操C 牧野 和子先生 音楽療法 畠山 悦子先生
アロマ・ヨガ 村田あゆみ先生



運動の秋に体力アップ!!

夏の暑さで失われた体力を、気候の良い秋に運動で取り戻しましょう。まずは、日常生活の中で、体を動かす機会を増やすことから始めてみませんか?ただし、無理は禁物です。かかりつけ医や自分の体と相談してみましょう。

- 運動量を増やすコツ**
- 1.近所には、徒歩、自転車で行く
 - 2.普段より少し長い距離を歩く
 - 3.階段を利用する

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

収穫の時期を迎え、手で土をかき分けていくと、奥深くからたくさんのサツマイモが出てきました。顔よりも大きなものもあり、収穫を楽しんだ後は天ぷらや大学芋を作ろうと親子で仲良く話をしている様子は微笑ましいものでした。

編集 高村

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

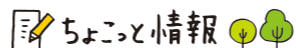
<http://www.kurobesw.com/>

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちょっと情報

〔黒部市の人口〕41,524人 〔65歳以上の人口〕12,769人 高齢化率 30.8% H30.8.31 現在